

発言順序（令和８年第２回水戸市議会定例会）

	(代表質問)	(ページ)
1	綿 引 健 議 員（魁，水戸）・・・・・・・・・・	1
2	安 藏 栄 議 員（政和維新）・・・・・・・・・・	2
3	田 尻 由紀子 議 員（公明党水戸市議会）・・・・・・	3
4	田 中 真 己 議 員（日本共産党水戸市議団）・・・・	4
5	打 越 美和子 議 員（水戸みらい）・・・・・・・・・・	5
	(一般質問)	
1	森 正 慶 議 員（公明党水戸市議会）・・・・・・	6
2	細 谷 智 宏 議 員（魁，水戸）・・・・・・・・・・	7
3	中 庭 由美子 議 員（日本共産党水戸市議団）・・・・	8
4	渡 辺 欽 也 議 員（魁，水戸）・・・・・・・・・・	9
5	滑 川 友 理 議 員（立憲みと）・・・・・・・・・・	10
6	松 本 勝 久 議 員（自民党）・・・・・・・・・・	11
7	池 田 悠 紀 議 員（政和維新）・・・・・・・・・・	12
8	マーサー川又 議 員（政和維新）・・・・・・・・・・	15
9	高 倉 富士男 議 員（公明党水戸市議会）・・・・・・	17
10	藤 澤 康 彦 議 員（水戸みらい）・・・・・・・・・・	18
11	佐 藤 昭 雄 議 員（国民民主党みと）・・・・・・・・・・	20
12	森 智世子 議 員（立憲みと）・・・・・・・・・・	21
13	土 田 記代美 議 員（日本共産党水戸市議団）・・・・	22
14	萩 谷 慎 一 議 員（みと元気プロジェクト）・・・・	23
15	黒 木 勇 議 員（公明党水戸市議会）・・・・・・	24
16	後 藤 通 子 議 員（魁，水戸）・・・・・・・・・・	25
17	須 田 浩 和 議 員（水政会）・・・・・・・・・・	26
18	鬼 澤 真 寿 議 員（魁，水戸）・・・・・・・・・・	28
19	小 泉 康 二 議 員（政和維新）・・・・・・・・・・	30

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

代表質問 1 綿引 健 議員（魁、水戸）

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 こども・子育て支援について (1) これまでの取組と成果について (2) これまでの情報発信の取組や課題について (3) 今後の展望について	市 長	
2 千波湖の水質浄化について (1) これまでの取組と成果について ア 成果の検証方法について イ 数値目標の達成状況について (2) アオコ抑制策について ア 千波湖導水事業における試験通水の効果と検証及び費用負担について イ 自流水の利活用について (3) アオコ及び湖底の堆積物の流出による桜川下流域への影響について (4) さらなる水質浄化に向けた今後の取組について	市 長	
3 商工行政について (1) 公設地方卸売市場の施設整備の現況について (2) 市場の魅力をさらに高めるための活性化策について	市 長	
4 総務行政について (1) A I の利活用状況について (2) A I が政策立案や意思決定のプロセスに及ぼす影響について (3) 生成 A I の利活用における庁内でのルール作り及びリスクコントロールについて (4) 人材確保策について	市 長	
5 行政と議会の在り方について (1) 一般質問への一問一答導入についての所感	市 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

代表質問 2 安藏 栄 議員（政和維新）

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 市長の政治姿勢について (1) 人口減少社会の到来とその対応について ア 国勢調査の結果として、「つくば市」の人口が県都を上回った状況の中で、これまで様々な少子高齢化問題への対応や移住推進策を強力に進めてきた市長の見解を伺いたい。 (2) 総務行政について ア 未利用財産の財政に係る現状と処分状況について (3) 市民協働行政について ア 千波湖南側消防学校跡地の有効活用について 市内武道 8 団体からの請願が採択されて以来、この程、みと魁・N e x t プランに検討事項として提示された市立武道館の建設について、早期の着工を望むが見解を伺いたい。 (4) 財務行政について ア クラウドファンディングの実績と今後の利活用について イ 公共施設における利用料金の在り方について (5) 都市計画行政について ア 開発によって増加する児童遊園の在り方について イ 県の拠点病院整備計画に伴う内原駅周辺の交通や今後のまちづくりについて (6) 教育行政について ア 武道教育の現状と課題、今後の推進方策について イ 食農教育の現状と課題、今後の在り方について	市長及び教育長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

代表質問 3 田尻 由紀子 議員（公明党水戸市議会）

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 交通政策について (1) 水戸市で暮らし続けていくための地域公共交通の在り方について ア 地域ごとの移動実態や交通利用状況と日常生活における移動に関する課題について イ 全ての人が安心して移動できる交通体系の実現について	市長	
2 保健医療行政について (1) 女性のライフステージに応じた健康づくりの推進について ア 健康に対する包括的支援について イ 健康支援におけるフェムテックの活用について ウ プレコンセプションケアの推進について	市長	
3 こども行政について (1) こども誰でも通園制度について ア 令和 7 年度の実施状況と利用実態及び制度運用における課題について イ 保育士の確保について	市長	
4 総務行政について (1) 市民サービス向上のためのワンストップ型の「おくやみ窓口」設置について	市長	
5 教育行政について (1) 市立小中学校及び義務教育学校における安全対策について ア 出入口のオートロック化及び防犯カメラの設置について イ 通学路における危険箇所の対策について	市長及び教育長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

代表質問 4 田中 真己 議員（日本共産党水戸市議団）

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 経済対策について (1) 物価高騰・資材不足の現状について ア 実態調査及び相談窓口の設置について イ 市独自の支援策の実施について	市 長	
2 福祉行政について (1) 高齢者の移動支援策の拡充について	市 長	
3 原子力行政について (1) 東海第二原発について	市 長	
4 教育行政について (1) 臨時教員の正規化の促進について (2) 小中学校の教員体制の拡充について	市長及び教育長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

代表質問 5 打越 美和子 議員（水戸みらい）

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 市長の政治姿勢について (1) こども・子育て D X の展開について	市 長	
2 郷土に誇りを持てるこどもたちの育成について (1) 本市ならではの特色ある郷土教育について	市長及び教育長	
3 にぎわいと活力ある都市づくりについて (1) 若者の活躍によるにぎわいづくりについて (2) 中心市街地活性化基本計画の目標指数とデータ活用による回遊性の向上について (3) 今後の都市計画とまちづくりの考え方について	市 長	
4 プロスポーツと連携したまちづくりについて (1) 「MITO BLUE PRIDE」のさらなる事業展開について	市 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 1 森 正慶 議員（公明党水戸市議会）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 保健医療行政について (1) 本市の小児医療体制について ア 小児オンライン医療相談・オンライン診療の事業内容、進捗状況、利用見込み数、周知スケジュールについて イ 市内医療機関、水戸市医師会、水戸薬剤師会との連携について ウ 水戸市休日夜間緊急診療所、茨城子ども救急電話相談等、既存事業を含めた役割の周知について	関係部長	
2 市民協働行政について (1) 安全安心なまちづくりについて ア 水戸市危険街路灯撤去補助金制度について イ 市道における街路灯の設置基準について ウ 都市計画道路 3・3・2 号中大野中河内線（松が丘工区）の開通に伴う交通量の増加を踏まえた、幹線市道 21 号線（裏見和線）における街路灯設置による交通安全対策について	関係部長	
3 教育行政について (1) 水戸市休日の地域クラブ事業について ア 水戸市休日の地域クラブ事業の準備状況について イ 水戸市休日の地域クラブ事業開始に伴う、部活動の安全管理・対策について	関係部長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 2 細谷 智宏 議員（魁、水戸）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 農業行政について (1) 本市の農業振興「大規模農家」への支援について ア 大規模農家（効率化・スマート農業）への支援について イ 物価高騰・資材高騰に対する緊急的な負担軽減について	関 係 部 長	
2 歴史文化財行政について (1) 「くれふしの里古墳公園」の今後の活用とさらなる魅力向上について ア 快適性を担保するための「滞在環境の抜本的な向上」について イ 周辺の歴史遺産と連携した「周遊観光の促進と情報発信の強化」について	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 3 中庭 由美子 議員（日本共産党水戸市議団）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 物価対策について (1) 物価高騰対策と熱中症対策について ア 政府の電気・ガス料金補助に加えて市独自に一般家庭への電気・ガス料金の補助を。 イ エアコン購入費補助について ウ 水道基本料金 2 か月無償化をさらに拡大へ。	関 係 部 長	
2 医療行政について (1) マイナ保険証について ア 従来の保険証の存続と後期高齢者全員に資格確認書の送付を。	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 4 渡辺 欽也 議員（魁、水戸）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 教職員の働き方について (1) 教員志望者数の減少理由・要因について (2) 働き方改革の成果・課題について (3) 学校現場の負担軽減に向けた支援拡充について ア 自動採点システム導入について イ 学校徴収金システム導入について ウ 保護者連絡アプリ等の活用について	関 係 部 長	
2 水戸協同病院新病棟建設と周辺整備について (1) 水戸協同病院新病棟建設の推進と施設老朽化への対応並びに周辺街づくりについて	副 市 長	
3 水戸市の地場産業の発信について (1) 地域産業を支えてきた「水戸納豆」の今後の都市ブランド・地域資源としての位置づけについて (2) 「納豆愛」や敬愛活動の促進、健康食品としての魅力発信、さらに「水戸納豆音頭」の普及について (3) 「水戸学の道」や観光ルートへの位置づけ、さらには納豆料理店等との連携による観光・地域経済活性化、納豆に関する講習会・講演会など、学びを通じた普及啓発について	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 5 滑川 友理 議員（立憲みと）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 防災・危機管理行政について (1) 災害時における本市の車中泊避難者の受入れ体制等について ア 車中泊避難の現状認識と本市の位置づけ及び国の法令・指針における車中泊対応の義務的位置づけについて イ 避難者把握の仕組み（名簿登録・受付体制）について ウ 駐車スペースの確保と環境整備について エ 今後の訓練・周知及び整備計画・スケジュールについて	関係部長	
2 教育行政について (1) CAPプログラム（こどもへの暴力防止プログラム）の推進について ア 本市の認識及び実施状況について イ 教職員向けCAPワークショップの導入促進について	関係部長	
3 公園緑地行政について (1) 大塚池の水質改善について ア 現在の水質及び水質測定について イ 水門整備の完了後の経過及び今後の取組について	関係部長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 6 松本 勝久 議員（自民党）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 水戸市職員の地方公務員としての服務規律と罰則規定、地方公務員法第 35 条、特別職に対する委員会組織について (1) 服務規律を各職場において徹底した事について (2) 職員に対して水戸市はどのような研修や教育を実施しているのか。 (3) 万一職員が違反をしてしまった場合において当該職員に対しどのように対処するのか、その定めは。 (4) 水戸市職員懲戒処分の手続と組織は。 (5) 三役に対しての組織は。 (6) 過去 3 年間での開催は。 (7) 対象者がいた場合職員教育は十分だと思われるか。 (8) 5 月 22 日兵庫県勤務中にジムに 水戸市にあった場合地方公務員法第 35 条は。	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 7 池田 悠紀 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 外国人問題について (1) 外国人の国民健康保険税滞納の対策について 令和 7 年 9 月の田口文明議員の質問によると、本市における外国人による国民健康保険税の滞納率は、日本人が約 16% であるのに対し、外国人市民が約 35%、永住者が約 30% の状況である。 この状況は平等性に欠け、早急な改善が必要であると考え る。 ア 栃木県宇都宮市など約 30 の地方公共団体が導入している、地方公共団体が出入国在留管理局へ悪質な外国人滞納者の情報を提供し、出入国在留管理局は、外国人の在留期間更新・在留資格変更申請時に納税証明書等の提出を求め、提出がなければ、原則更新等が認められないという制度の導入を検討する見込みはあるか。 イ 令和 8 年 4 月より厚生労働省が通常の納期限から前倒しして納付させる仕組みを提示しているが、本市においてこの取組を導入する見込みはあるのか。 (2) 茨城県における不法就労外国人通報報奨金制度並びに「県外国人不法就労活動の防止に関する条例案」について 不法就労は、適法に事業を営む事業者との公平性を損ない、地域経済にも悪影響を及ぼす。また、場合によっては、治安や住環境の悪化にもつながりかねない。 茨城県は不法就労外国人通報報奨金制度の実施を始めるとともに、全国初となる条例制定に踏み切ろうとしている。 ア この県の動向に対して、本市はどのように捉えているのか。また、現在不法就労を生まないために取り組んでいることはあるか。 イ 市の各種業務を通じて、不法就労や不法就労助長行為が疑われる情報を把握した場合、県や警察など関係機関へ情報提供する仕組みは整備されているのか。	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 7 池田 悠紀 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
2 教育行政について (1) 本市における学校行事（特別活動）の実態について 市民から「学校行事が簡素化されている気がする。持久走もなくなったし、運動会も半日。練習も 1 週間ぐらい前に始まって、あまり練習時間を取っていないかった。学校行事を大事にしてほしい。」といった意見が寄せられた。 ア 本市における体育祭等について、競技時間・競技種目・準備期間などはどのように変化しているか。また、変化に至った理由を伺う。教育委員からの何らかの関与があったのか。もしくは、学校長の判断なのか。 イ 本市における学校行事（特別活動）に対する考え方を伺う。学校行事は削減対象なのか、重視対象なのか。	関 係 部 長	
3 脱炭素事業について (1) 公共施設への太陽光パネル設置について 寿幼稚園の太陽光パネルは契約満期を待たずしての撤去となり、本市に大きな損失を生んだ。 ア 契約はどのような経緯・条件で行われたのか。 イ 公共施設への太陽光パネル設置が推進されているが、候補地はどのように選ばれているのか。	関 係 部 長	
4 選挙行政について (1) 本市における投票率の向上策について 投票率の低下（特に若年層）を本市としてどのように捉えているのか。次の県議会議員選挙・市議会議員選挙において、投票率向上を図るための新たな工夫を考えているのか。 (2) 親子が一緒に投票所を訪れるきっかけづくりとなる取組について 岩手県北上市では、「親子で投票に行こうキャンペーン」という、親子が一緒に投票所を訪れるきっかけづくりの給食	選挙管理委員会委員長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 7 池田 悠紀 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
の主菜（おかず）模擬選挙を実施した。子どもたちによって 1 位に選ばれたおかずが 9 月の給食に登場するというもので、この取組の結果 20～30 代の投票率が 9～16%アップした。 2016 年の法改正により、18 歳未満まで投票への同行が可能になっている。総務省の 18 歳選挙権に関する意識調査のデータでは、子どもの頃に親の投票に同行した子どもは、将来の投票率が 20%以上も上がることが分かっている。未来の投票率を向上させるためにも、このような取組を早急に行うべきと考えるが、本市の見解はいかがか。		

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 8 マーサー川又 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 子育て世代が安心して暮らせる環境整備について (1) 少子化が進行する中、本市における子育て世代の定住促進と人口流出抑制に向けた取組について (2) 保育士等の人材確保並びに保育環境の充実に向けた施策について (3) 妊娠期から出産、子育て期まで切れ目なく支援する相談体制の現状と今後の方向性について (4) 小・中・義務教育学校における、水戸ならではの特色ある教育の現状について (5) 子育て世帯の経済的負担軽減について	関係部長	
2 若い世代に選ばれるまちづくりについて (1) 本市の出生数及び若い世代の転入・転出状況の分析について (2) 若い世代が本市を居住地として選択するために必要な施策について (3) 子育て支援、教育環境及び住環境の一体的な整備について (4) 県央圏の中心市として子育て世代を惹きつける都市戦略について	関係部長	
3 防災・減災につながるラジオ活用について 災害時の情報伝達におけるFMばるるん76.2MHzの有用性は、臨時災害放送用設備を活用した市役所からの割り込み装置や臨時災害放送局の周知活動など多岐にわたり防災・減災対策の推進に多大な貢献をしている。先日6月1日「電波の日」には関東総合通信局より唯一自治体として本市が表彰された。ラジオ活用の有用性について改めて伺う。 (1) 水戸市が表彰された功績は何が要因と思われるか。	関係部長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 8 マーサー川又 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
(2) 災害発生またはおそれがあった場合のラジオを活用した対応は。 (3) 割り込み放送とは具体的にどのような放送か。 4 市街化調整区域の有効活用について 本市の都市計画区分では市街化区域 20%、市街化調整区域 80%となり、この区分は昭和 46 年 3 月に設定してから 55 年経過している。調整区域とは乱開発やスプロール化を招かない趣旨であったが、制定されてから半世紀が経過し時代背景や経済状況は大きくさま変わりしている。結果として企業誘致は近隣市町村が受皿となり、名称のみ水戸工場や水戸事業所と名のる企業も複数ある。本市の調整区域の活用の方向性を伺う。	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 9 高倉 富士男 議員（公明党水戸市議会）

【一括方式】・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 財務行政について (1) 遺贈寄附の受入れについて ア 遺贈寄附に関する相談体制の整備について イ 終活支援との接続について ウ 使途指定型基金の創設について	関係部長	
2 地方創生について (1) 副業人材等の活用による地域課題解決と関係人口の創出について ア 副業人材及びプロボノ人材活用に対する本市の認識について イ 地域課題解決に向けた外部専門人材との連携について ウ 副業人材活用を通じた関係人口創出の考え方について エ 地域事業者や地域団体と副業人材とのマッチング支援について オ 公共性・地域貢献の観点からの多様な人材活躍環境づくりについて	関係部長	
3 環境行政について (1) 廃プラスチックのリサイクルと将来の資源循環都市形成について ア 本市における廃プラスチック処理の現状と課題について イ マテリアルリサイクル及びケミカルリサイクル等の資源循環技術に対する本市の認識について ウ エネルギー安全保障及び地域資源循環の観点からの今後の方向性について エ 将来的な「資源循環都市」の形成に対する本市の考え方について	関係部長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 10 藤澤 康彦 議員（水戸みらい）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 本市の東部地区の地方行政について (1) 水戸市東部公園サッカー場について ア 同サッカー場に向かう車両の状況について イ 地域住民の騒音等の被害状況について ウ 同被害対策と今後の地域説明会について エ サッカー公園につながる道路整備における国道 6 号バイパスとの連結について (2) 新川の河川整備について ア 渋井町にある鹿島神社付近の新川の河川状況について イ 同じく鹿島神社付近の橋の健全性について	関 係 部 長	
2 市民のための相談窓口について (1) 市民相談窓口におけるおくやみ窓口の設置について ア おくやみ手続きナビのアクセス状況について イ おくやみ相談窓口の設置について (2) 本庁舎窓口の D X 対策について ア 「行かない窓口」、「書かない窓口」、「待たない窓口」のための本市の公式 H P における A I チャットボットの導入について イ 市民が使いやすい窓口サービスの向上のための音声認識 A I を使ったサービスの導入について	関 係 部 長	
3 こども行政について (1) こどもの意見を聴く場の設置について ア みとっこ未来クラブの登録要件、会員数について イ みとっこ未来クラブの実施状況について	関 係 部 長	
4 教育行政について (1) 市立小・中学校の給食について	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 10 藤澤 康彦 議員（水戸みらい）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
ア 給食の献立の立案と量の設定について イ 給食に関する調査の状況について ウ 給食に関する調査を行ったのであれば、その分析結果について エ 給食の献立と量に関して今後の展望は。 5 職業安定に関する行政について (1) ハローワーク水戸、水戸公共職業安定所について ア 移転後の現在の所在地について イ ハローワーク水戸への水戸駅北口 2 階からのアクセスの課題について、特に障がい者等の車イス利用者のアクセスの課題について ウ 同アクセスの課題における本市の対応について	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 11 佐藤 昭雄 議員（国民民主党みと）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 市長の政治姿勢について (1) 県都水戸としての持続可能で活力ある都市づくりについて ア 国勢調査速報値の受け止めについて イ 選ばれる都市となるための魅力創出について ウ 周辺自治体との将来的な広域合併に向けた取組について	関 係 部 長	
2 公園行政について (1) 東部公園の運営に伴う周辺環境の整備について ア 地域住民の交通安全と町内道路の安全確保策について イ 地域住民との共同による緑化支援対策について	関 係 部 長	
3 教育行政について (1) 若者を犯罪から守るための勤労観教育と防犯教育の充実について	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 12 森 智世子 議員（立憲みと）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 市民協働行政について (1) 水戸市協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」について ア わくわくプロジェクトの制度趣旨について イ 応募状況と採択状況について ウ 補助額や事業規模に幅を持たせる制度運用について エ 職員の協働経験の蓄積について	関係部長	
2 都市基盤整備について (1) 富士池浚渫・調整池整備実施設計等と下市地区における内水対策について ア 富士池周辺の調整池整備実施設計等の内容と目的について イ 富士池浚渫工事の内容について ウ 現在の進捗状況と今後のスケジュールについて	関係部長	
3 市役所の働き方と人材確保について (1) 会計年度任用職員の処遇改善と働きやすい職場づくりについて ア 会計年度任用職員の役割について イ 本市における任用状況について ウ 療休制度の在り方について	関係部長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 13 土田 記代美 議員（日本共産党水戸市議団）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 道路行政について (1) 老朽化した市道の安全確保と更新について ア 市道常磐 4 号線及び市道渡里 166 号線について イ 市道渡里 102 号線について	関 係 部 長	
2 交通政策について (1) 国田地区の公共交通について (2) 水都タクシーの利用について	関 係 部 長	
3 教育行政について (1) 特別支援教育支援員について (2) 各小学校で保有している楽器について	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 14 萩谷 慎一 議員（みと元気プロジェクト）

【一括方式】・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 千波湖の水質改善と千波公園の魅力向上について (1) 千波湖の水質改善について ア 霞ヶ浦導水試験通水及び自然流水活用の検証結果について イ 千波湖の水質改善に向けた課題認識について ウ 通年通水及び自然流水活用の今後の方向性について (2) 千波公園のさらなる魅力向上について ア 千波公園の将来像と都市ブランド形成について イ 千波公園・偕楽園月池にぎわい創出協議会及び民間活力を活用した魅力向上について ウ 歩いて楽しめる都市空間づくりとエリアマネジメントの考え方について	関 係 部 長	
2 コウノトリの生息を契機とした自然環境の保全と「まちの誇り」について (1) コウノトリの生息状況と市の認識について (2) 涸沼周辺を含めた生息環境の保全について (3) 地域との共生と「まちの誇り」につながる取組について	関 係 部 長	
3 徳川光圀公生誕 400 年に向けた取組と「水戸のあじさいまつり」との連携について (1) 徳川光圀公生誕 400 年に向けた検討状況について (2) 保和苑を活用した記念事業の実施について (3) 水戸のあじさいまつり実行委員会等との連携体制について	関 係 部 長	
4 市民サービスを支える窓口業務体制について (1) 開庁前・閉庁後業務の実態把握について (2) 窓口業務における適正な労務管理について (3) 持続可能な窓口サービスの提供体制について	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 15 黒木 勇 議員（公明党水戸市議会）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 水戸駅南口ロータリーの再整備について (1) 水戸駅南口のロータリーを含む周辺の開発事業は、主に 1990 年代後半から行われ、計画期間を含めると約 30 年が経過しているが、現状と課題について (2) 自家用車の送迎スペースの不足による、朝夕の混雑が慢性化しており、利用者の利便性向上と何より利用者の安全確保が必要である。 (3) バス路線が増加している南口バス乗り場は、小学生の通学に利用されており、ベンチの増設と時計の設置が必要である。	関 係 部 長	
2 子育て世帯に選ばれるまちづくりについて (1) 国の病児保育事業 4 事業の水戸市における実施箇所数及び延べ利用児童数について (2) 病児保育事業 4 事業の違い、特に体調不良児型が保護者に十分に伝わっていない状況の改善について (3) この事業は、保育の質の向上だけでなく、保護者の離職防止に直結するため、保育士、看護師の確保支援や空き状況のリアルタイム可視化などの D X 化の推進について (4) 移住・定住促進における、病児保育事業の 4 事業の重要性和、多様なニーズに対応した子育て支援サービスの推進について	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 16 後藤 通子 議員（魁、水戸）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 若者の自己決定権と孤立対策について (1) 自立の壁に直面し、心理的・社会的なサポートが不足している若者に対し、どのような支援を行っているか。また、若者が相談窓口にアクセスしやすい環境整備について (2) 自己肯定感をはぐくむためのキャリア教育・カリキュラムについて	関 係 部 長	
2 地域コミュニティの希薄化がもたらすこども・学校に与える影響について (1) 地域社会とのふれあいの減少などにより、人と人との関係が希薄化している現状の中、学校ではこどもたちの人間関係づくりのためにどのような取組を行っているのか。	関 係 部 長	
3 教員の民間派遣研修について (1) 教員の年齢構成の現状、現在実施している研修及び民間企業研修に対する本市の見解と今後の展望について	関 係 部 長	
4 （仮称）南部図書館と当該地区の福祉環境について (1) 地域包括支援センター等との連携を含めた地域の福祉向上のための図書館の機能について	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 17 須田 浩和 議員（水政会）

【一括方式】・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 市民が安心して暮らせるまちづくりについて (1) 水戸市民が不安を感じることなく往来し暮らせるまちづくりについて ア 水戸駅南口周辺や大工町地区をはじめ、市内における客引き行為などの不適切な路上勧誘行為の近況について、市はその発生状況や実態をどのように把握しているのか伺います。 イ 様々な経緯を経て、大工町交番は従前の場所で再整備され、この地域の安全・安心を支える重要な拠点として新たに整備されました。また、大工町に設置されたＡＩカメラについても、導入当初に説明のあった学習期間を経て、本格運用の段階に入っているものと認識しております。しかしながら、現状を見る限り、迷惑な客引き行為が減少しているとの実感を持つには至っておりません。そこで、大工町ＡＩカメラの現在の運用状況と、客引き行為の抑止をはじめとする防犯対策への効果について、市としてどのように把握しているのかお伺いいたします。 ウ 他自治体の事例を見ると、北海道・すすきの地区では迷惑な客引き行為がほぼ見られない状況となっており、新宿においても大幅に減少しています。これらは、都道府県警察や自治体が連携し、集中的な取締りや環境浄化対策を進めてきた成果であると認識しています。こうした中、本市においても地域の安心・安全を確保し、誰もが安心して利用できる繁華街環境を実現していくためには、県による強力な支援や県警との連携が重要であると考えます。そこで、客引き行為対策や繁華街の環境浄化に向けた県との連携状況、また県としての今後の取組方針や動向について把握している範囲で伺います。	関係部長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 17 須田 浩和 議員（水政会）

【一括方式】・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
2 水戸フェスについて (1) 今年の水戸フェスは、ゴールデンウィーク期間中の土曜日に開催されました。会社員や学生など、平日に病院や歯科医院を受診することが難しい方も多く、土曜日の診療は地域医療において重要な役割を担っています。しかしながら、水戸フェスの開催に伴い、周辺道路や駐車場の混雑が発生し、中心市街地の医療機関を利用する方々にとって移動や受診に時間的な負担が生じるなど、受診環境への影響も見受けられました。こうした状況を踏まえると、開催日の設定については、来場者の利便性だけではなく、周辺施設の利用者への影響にも十分配慮する必要があると考えます。そこで、水戸フェスを土曜日に開催することのメリットとデメリットをどのように捉えているのか、また開催日の在り方についてどのような考えを持っているのかお伺いいたします。	関 係 部 長	
3 下入野健康増進センターについて (1) 温浴施設利用者の市町村別内訳と料金について ア 温浴施設利用者の市町村別内訳について伺います。 イ ランニングコストと賄い率はどのようになっているか伺います。 ウ 水戸市周辺地区の入浴施設では、住民と住民以外で料金設定を変えている施設もあるが、水戸市でも導入してはいいかがか考えを伺います。	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 18 鬼澤 真寿 議員（魁、水戸）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 那珂川沿岸区域の治水対策と今後の利活用について (1) 「那珂川緊急治水対策プロジェクト」の進捗状況と完了に向けた見通しについて伺う。 (2) 今後、安全性の確保が期待できる那珂川沿岸区域を今後の本市の都市計画や土地利用において、利益を生み出す土地として有効活用するために、計画的な地区計画の導入等を提案するが、市の見解を伺う。 (3) 国では河川空間とまちづくりを一体で支援する「かわまちづくり」支援制度等を設けているが、本市としてそれらの活用も含め、那珂川の水辺空間の利活用を積極的に推進することを提案するが、市の見解を伺う。	関 係 部 長	
2 備前堀及び伊奈備前守忠次公の功績を活用した歴史まちづくりについて (1) 本市の基盤を作った伊奈忠次公の多大なる功績と歴史的・文化的遺産である「備前堀」の価値について、市はどのように認識し、評価しているのか、市の見解を伺う。 (2) 市は現在、備前堀の魅力を維持するためにどのような維持管理・環境整備を行っているのか、また、次世代へ継承するための今後の具体的な整備・保全方針についても併せて伺う。 (3) 市として、備前堀と周辺地域を「歴史・水辺空間活性化エリア」として明確に位置づけ、単なる水路の管理に留まらない、景観・観光等を一体化した総合的な整備計画（グランドデザイン）の策定を提案するとともに、4都市協定に見られる伊奈忠次公にゆかりのある他自治体との広域連携を進めていくことも提案するが、見解を伺う。	関 係 部 長	
3 「百樹園」及び「水戸市植物公園」の観光資源化と集客力向上について	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 18 鬼澤 真寿 議員（魁、水戸）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
(1) 「百樹園」及び「水戸市植物公園」のコロナ禍以降の年間来園者数について伺う。 (2) 牧野博士ゆかりの施設としての百樹園、「温室の建築化」という新しいコンセプトで作られた植物公園、ともに専門家から高く評価されているものの、来園者数とその評価に追いついていないと考えるが、市はどのように捉えているのか伺う。 (3) 百樹園の歴史や植物公園の関連展示等において牧野博士を意識した取組は評価できるが、さらにプロモーション戦略の中で「牧野博士ブランド」を大々的にPRして、まずは認知度を上げ、ただ植物をながめる施設から「集客力のある場所」へと転換するために、「牧野博士ブランド」を前面に掲げ、牧野博士の功績が学べる常設展示のブラッシュアップ、子どもや市民向けの「体験型イベント」の拡充、市内公園を巡るバスツアーの実施など、「牧野博士ブランド」を肌で感じる施策の展開を提案するが、市の見解を伺う。		

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 19 小泉 康二 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
1 観光行政（水戸黄門まつり）について (1) 第 66 回水戸黄門まつりについて ア 来場者目標や経済効果について イ 今年も猛暑（酷暑）が予想される中、安心安全なお祭りを開催すべく、実行委員会における熱中症など各種対策（マニュアル）や体制整備について ウ 日本遺産に認定される旧弘道館及び偕楽園との新たな連携策や考え方について エ リニューアルへ向けた企画委員会の進捗や協議内容、リニューアル時期について オ 花火大会について (2) いばらき県央地域観光協議会の取組について (3) 水戸・笠間・大洗・ひたちなか観光協議会の取組について (4) 大洗海上花火大会への協力（支援）について	関 係 部 長	
2 水道事業について (1) 安心安全な水道事業の推進について ア 楮川系及び開江系配水系統の相互互換体制の運用について イ ダム及び浄水場の運転管理などへの A I の導入やデジタル化並びに重要管路の複線化等の検討について (2) 「水の都みと」として日本一おいしい水道水を目指すべきと考えるが市の見解について	関 係 部 長	
3 建設行政及び交通安全対策について (1) 都市計画道路 3・4・5 号偕楽園公園上水戸線道路改築事業について ア 本事業の残工事内容及び供用開始時期について イ 学校入り口に設置された信号機の供用開始時期について	関 係 部 長	

令和 8 年第 2 回水戸市議会定例会質問内容

一般質問 19 小泉 康二 議員（政和維新）

【一括方式・一問一答方式】

質 問 内 容	答 弁 者	備 考
(2) 水戸市立第一中学校付近における交通環境整備及び各種安全対策について ア 現況に合わせた交通規制（通行禁止区間や規制時間等）の更新や見直しの必要性について イ 水戸市立第一中学校及び新荘小学校付近における交通安全対策について 4 教育行政について (1) 水戸スタイルの教育の推進に向けて ア 先般STEAM教育及びSTEAM-Labに対し、多額の御寄附（企業版ふるさと納税）を賜ることができたと伺ったが、その経緯について イ 新たな財源確保により本市が目指すSTEAM教育への取組と期待するSTEAM-Lab事業が加速するものとするが今後の取組や進行スケジュールについて ウ 市内全小中学校通学路の登校時間帯における交通規制（エリア、時間等）の更新、見直しの必要性について	関係部長	